

ののかぜ広場、お疲れ様でした

天気も良く、少し暑いくらいの空気の中、無事のののかぜ広場が開催されたこと、本当にうれしく思っています。

コロナ対策として0・1歳児のつくし・たんぽぽと、2～5歳児のすみれ・そら・やまとの入れ替え制で行い、幼児クラスの子どもたちは待ち時間が無くて良かったことや、観客席も余裕があってよかったという意見があった反面、0歳児から5歳児までの姿が見れなかったのが残念という意見もあり一長一短ですね。2部の大人の競技や、BBQ交流会もできる環境になって欲しいという声もありました。みなさん、いろいろと感想も出してくださいありがとうございます。また以前のような形で出来るようになることを願っています。



真鍋さんのノーベル物理学賞の受賞と地球温暖化問題

気象学者の真鍋さんのノーベル賞を受賞されました。天気予報の精度向上をめざして始まった真鍋さんの研究は、二酸化炭素の重要性に気づいたことから地球全体の気候システムの変動予測に発展していったとされます。

真鍋さんの受賞は、地球温暖化が深刻さを増している中、人々がこの問題に目を向けていくことにつながると思っています。



地球温暖化の問題に関して、国連気候行動サミットで、スウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんが気候危機対策より経済対策を優先する各国のリーダーたちに強い言葉で批判しました。この一人の行動が世界中に広がり、今や「未来のための金曜日」として金曜日に温暖化対策を求める若者たちを中心とした抗議行動日として発展しています。日本でも最近若者たちのこうした動きが出て来ました。

真鍋さんのノーベル賞受賞でさらに、将来を生きる若者たちそして子どもたちが安心して暮らせる地球環境を守って行けるようになっていくといいなと思っています。

遠足、それぞれにいっぱい楽しんできました。お弁当づくりありがとうございました

先日、遠足がありました。当日は久しぶりに風もなく暖かい陽気で0歳児つくし組からそら・やまの部屋の子どもたちがそれぞれにお弁当を持って遊びに出かけました。

つくし組の子どもたちとすみれ組の子どもたちはメタセコイヤ広場へ。つくしさんたちは保育士の歌に合わせて踊ったり、わらべ歌に合わせて落ち葉を飛ばしたりしながらゆったり楽しんできました。すみれさんたちは元気よく保育士と“よ～い、どん！”と駆けこしたり、どんぐりを拾い集めて友だちと一緒に遊んだりしていました。

たんぽぽの子どもたちは、桜の園へ。ちょっと伸びた草をかき分け、いいもの探索活動を友だちや保育士たちと楽しんでいました。

待望のお弁当はみんな大喜びで食べていましたよ。

そら、やまの子どもたちは、それぞれに、虹の塔と鹿の子公園へ遠足に出かけました。こちらには時間が無くて見に行くことはできませんでしたが、やまは鹿の子公園に行ったら他の保育園の子たちが遊んでいたのでもまずは消防署に行って消防車を見てから公園に戻って遊んできたようです。

そらの子どもたちも、しっかり歩く力がついてきているのでいきなり虹の塔に行くことはやめて、桜の園を通過して、平和堂の長い階段を登り、そこから下って虹の塔で遊んできたようです。

それぞれにお母さん、お父さんに作ってもらったお弁当を大喜びで食べていたそうです。子どもたちのこうした幸せ時間があるお弁当作り、ありがとうございました。

